

## 活動報告書

団体名	柏の葉サイエンスエデュケーションラボ
実施事業	道の理科室
実施期間	2020年3月20日～3月29日
助成金額	100,000円

### 実施した事業の内容・成果

#### <実施内容>

2019年の台風・豪雨で大きな被害を受けた千葉県南房総地域で、直接的な支援による復旧の先にある、目に見えづらい復興に向け、子どもの教育と地元産業の復興を目指す取り組みを行った。①来場者が地元の自然にまつわる展示や化石発掘などの体験ワークショップを楽しめ、②科学の学びを促進するグッズや教材を購入できる物販コーナーも備えた「道の理科室」の定常化を目指し、古民家を借り上げて3月18日～29日の12日間、期間限定の実証実験を行った。また、③現地の復旧の様子をご覧いただくとともに、復興の一助となり、かつ地元の魅力を観光資源化する取り組みの一つとして、都市部（千葉県柏市周辺）から観光客を送客し「理科の修学旅行」と題した日帰りスタディツアーを実施した。さらに、④近隣自治体で地場産業に従事する地元住民とのネットワークを構築し、新規の体験プログラム開発のための情報収集や新規事業開発を行った。⑤地元の協力者には、実証実験版の「道の理科室」をご覧いただき、今後の定常化を目指して議論と協力要請を行った。

#### <実施詳細>

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「道の理科室」の実施情報の発信はSNSを通じてのみを行い、来場者を限定的に受け入れた。千葉県内で駆除されたイノシシやシカの骨格標本を紹介資料とともに展示し、手で触れていただきながら解説を行った。希望者には体験ワークショップも実施した。「理科の修学旅行」では市原市の千葉セクションを観察し、専門家による解説や講演会を行った。期間中は南房総エリア各地（勝浦市・いすみ市・鴨川市・大多喜町・御宿町）に足を運んだ他、鋸南市・館山市からも地元住人をお招きして各地域での活動の様子を伺い、地域のさらなる復興・活性化のための協働を目指して意見交換を行った。加えて、今後の展示スペース拡大を見越し、現地で調達したキョンやイノシシの骨格標本化作業や、皮革産業創出のための皮収集も進めた。キョンやイノシシは地元で害獣として駆除されたものを、猟師さんや地域おこし協力隊、ジビエ産業従事者などの協力を得てご提供いただいた。

#### <成果>

道の理科室には12日間で延べ26人の来場があった（ツアー参加者12名を含む）。子どもたちをはじめとする地元住民に展示やワークショップを通じて科学に触れる機会を提供できた。都市部からのツアー参加者には南房総地域の自然の中から科学的な学びを得る体験をしてもらえただけでなく、実際に現地に足を運ぶことで被災地の現状や復興の過程にも関心を持っていただけた。35名の地場産業等に従事する地元住民や事業者から被災地の現在の様子や地域の課題について生の声を聞くことができ、新たなプログラムや新規事業の開発にも着手できた。地域で活動されておられる方々に、「道の理科室」の目指す方向性をご覧いただき、意見交換する中で、似た方向性を目指す方々や遊休資産の存在も認識することができた。

#### 活動の様子



